

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第3巻第34号

第34週(8月18日～8月24日)

発行年月日:平成15年(2003年) 8月 29日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (34週)	累積報告数		平成14年報告数	
			滋賀 (34週)	全国 (34週)	滋賀	全国
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	2	292	6	693
	パラチフス	0	0	22	1	33
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	7	1483	14	3132
4類感染症	アメーバ赤痢	0	2	322	6	453
	エキノкокクス症	0	0	13	1	9
	オウム病	0	1	34	0	55
	急性ウイルス性肝炎	0	3	501	2	915
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	3	74	2	146
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	40	1	90
	後天性免疫不全症候群	0	6	559	6	888
	ツツガムシ病	0	1	134	0	329
	梅毒	0	1	309	4	561
	破傷風	0	1	43	0	105
レジオネラ症	0	1	87	1	166	
指定感染症	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0	0

* 平成14年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。
* 指定感染症:患者が発生した場合に、都道府県知事の判断により、まん延防止のための迅速な対応が可能になります。

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.31	1.71	4.50	0	0.60	0	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.31	0	1.00	0	0	0	0	2.00	
感染性胃腸炎	1.19	2.86	3.00	0	0	0	0	0	
水痘	0.56	0.43	0.67	0	0.80	1.00	0.75	0	
手足口病	0.44	0.43	0.83	0	0	1.00	0	1.00	
伝染性紅斑	0.09	0	0	0.25	0	0.25	0.25	0	
突発性発疹	0.97	1.71	1.00	0.25	0.20	0.25	1.75	1.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	1.53	3.43	1.83	0.25	0.40	0.75	2.00	0	
麻疹	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	0.47	0.29	1.00	0	0.20	0.25	0.25	2.00	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.29	0	0	2.00	0	0	0	0	
急性脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.29	1.00	0	1.00	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 0.5 1 1.5 2
定点当たり患者数

3) 今週のトピックス

咽頭結膜熱の発生に地域的な偏り 手足口病の病原体情報

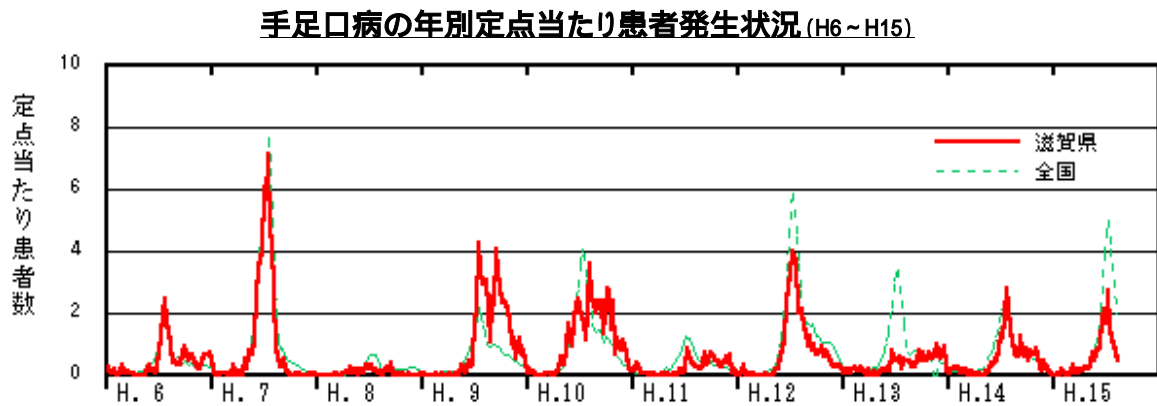
定点把握の対象となる4類感染症の発生状況を先週と比較すると、多くの感染症において定点当たり患者数は減少していますが、咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、突発性発疹、ヘルパンギーナ、麻疹の定点当たり患者数は増加しています。

咽頭結膜熱については、定点当たり患者数は第17週が1.28、第18～33週は0.47～0.78で推移していましたが、第34週は1.31と急増しています。特に、**草津保健所**管内の定点当たり患者数が4.50と多くなっています。他の保健所管内における定点当たり患者数は、**大津** 1.71、**八日市** 0.60となっています。

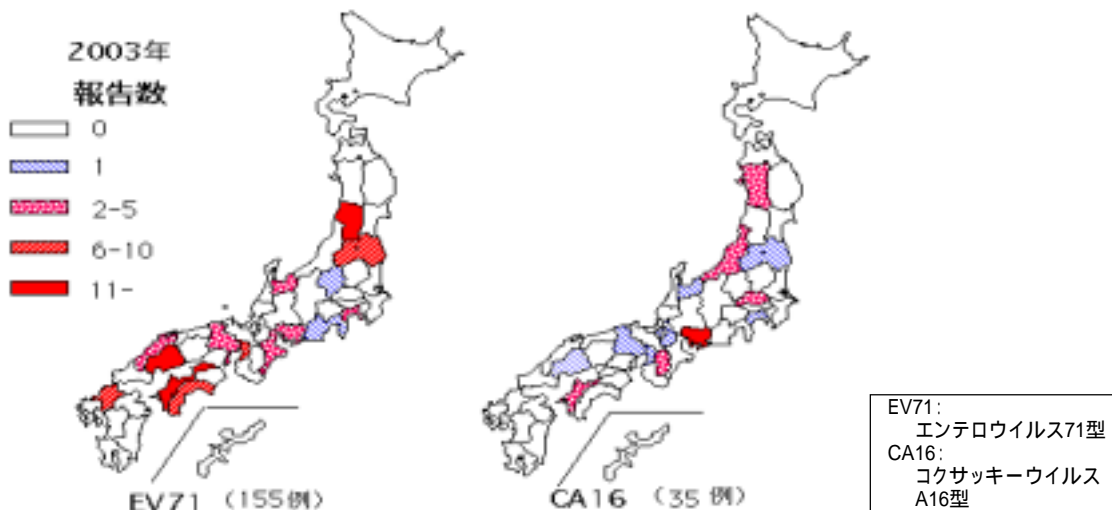
手足口病については、先週に引き続き減少傾向を示していますが、全国と同様に滋賀県においても手足口病の原因となるエンテロウイルス71型(EV71)が分離されているため、今後の発生動向に注意が必要です。

ヘルパンギーナについては、定点当たり患者数は減少傾向を示していますが、先週と比較するとやや増加しています。特に、**大津**、**草津**、**長浜保健所**管内においては、先週に引き続き多くなっています。

* 手足口病の年別定点当たり患者発生状況は下記のグラフのとおりです。



手足口病患者からの主なウイルス分離報告数 (病原微生物検出情報:2003年8月22日現在報告数より) - 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告数を図に示したものです -



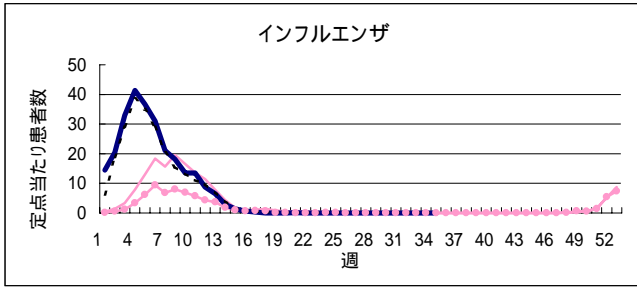
グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

滋賀県における手足口病患者からのウイルス分離状況 (2003年6月～7月採取分、咽頭ぬぐい液)

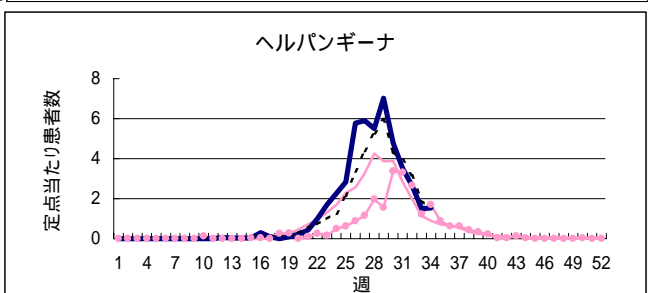
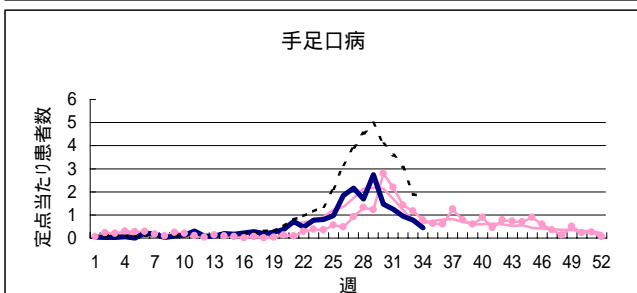
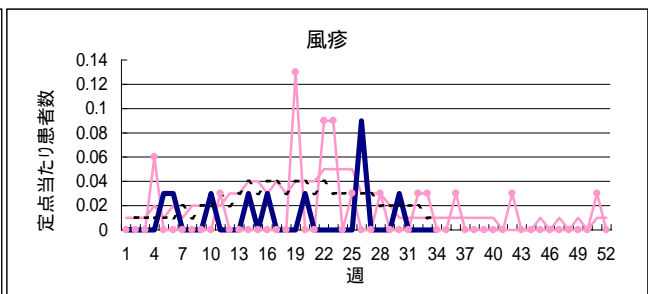
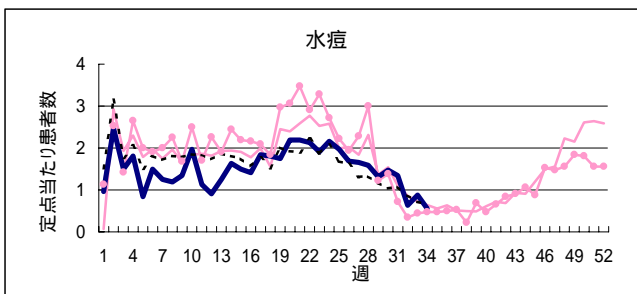
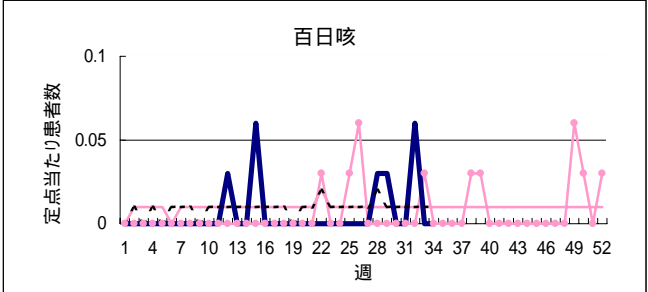
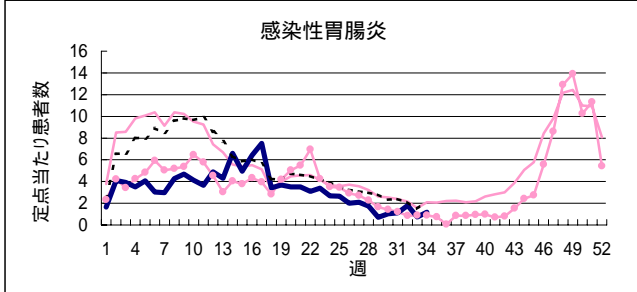
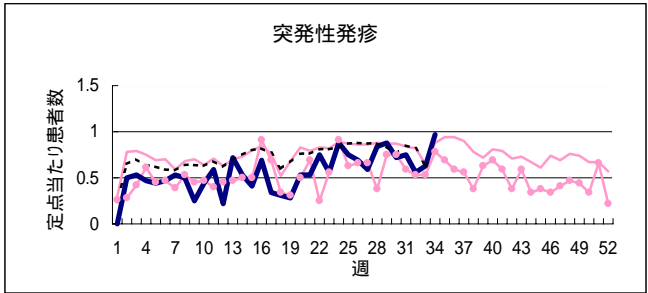
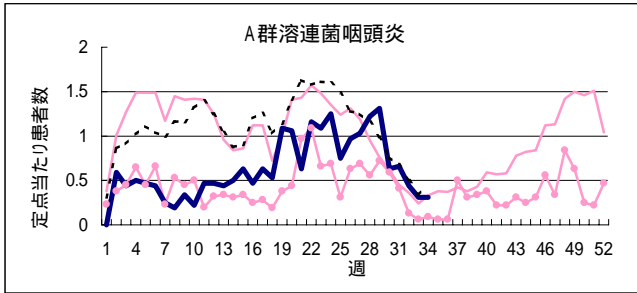
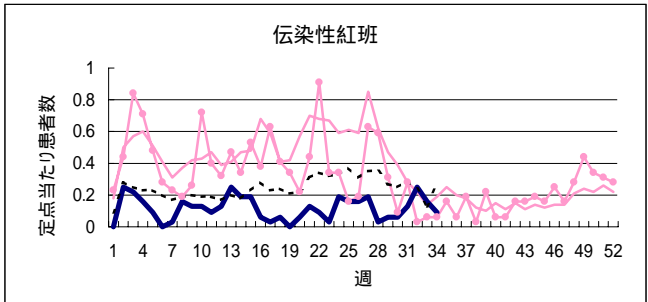
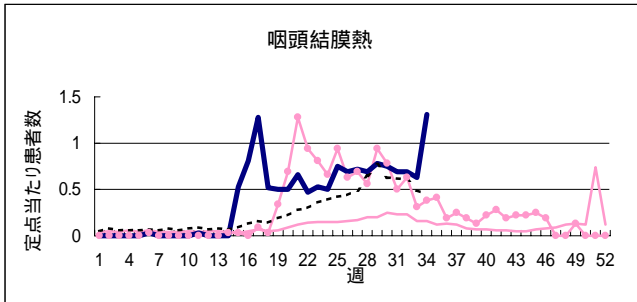
手足口病患者の咽頭ぬぐい液(2003年6月～7月採取)7件から、エンテロウイルス71型(EV71)が5件、コクサッキーウイルスA16型(CA16)が2件分離されました。

また、EV71は、全国においても多く分離されており、無菌性髄膜炎、ヘルパンギーナ、脳脊髄炎や神経症状を伴った重症例からの分離も報告されています。

疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第34週)



H14 { 滋賀 (pink line with dots)
 全国 (light pink line)
 H15 { 滋賀 (solid blue line)
 全国 (dotted black line)



疾病別定点当たり患者数(平成15年第1週～第34週)

H14 〔 滋賀 ●●●●●●
 全国 ○○○○○○
 H15 〔 滋賀 ————
 全国 - - - - -

